



ほのぼの赤間西

発行

赤間西地区コミュニティ

運営協議会 広報委員会

TEL0940-38-9506

FAX0940-38-9507

印刷

太陽グラビア有限会社

これからの赤間西にも期待しタイ!



赤間西地区コミュニティ運営協議会が発足して20年という節目を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

コミュニティ設立以来、季節ごとの「4部会合同事業」の開催や「赤間西パトロール」「新中学生自転車教室」など、地域と密着した活動に心から敬意を表します。

今後も地域・世代間交流の促進に繋がる事業の企画や、安心・安全なまちづくりで、赤間西地区、そして宗像市全体を盛り上げていってください!

宗像市長 伊豆美沙子

コミュニティってなんだろう？

「コミュニティ」を日本語にすると「共同体」。一般的に同じ地域に住んで、政治・経済・文化などで深く結びついている人たちの集まりのことを言います。

宗像市では、コミュニティ単位でのまちづくりを進めていて、小学校の校区ごとに12の「コミュニティ運営協議会」が設立され、住民が市と協力しながら、地区ごとの特徴をいかしたまちづくりを行っています。

住民が自分たちの意見を出し合いながら

住みよいまちになっているんだね。

赤間西もコミュニティ運営協議会が出来て今年で20年。以前と比べてどこか良くなったの？



下の図を見るとよくわかりますが、コミュニティ運営協議会ができて以降、市役所と住民の意思疎通がスムーズになりました。改善点や要望などへの回答、対処が早くなり、「市役所は地域住民の声を大切にできるようになった」という声もあります。

今後も、コミュニティ内の事業や役割分担を改善しながら、もっと良い赤間西にしていきたいですね。

みんなの出会いから

素敵なコミュニティが生まれるよ。

赤間西には世代を問わず参加できる

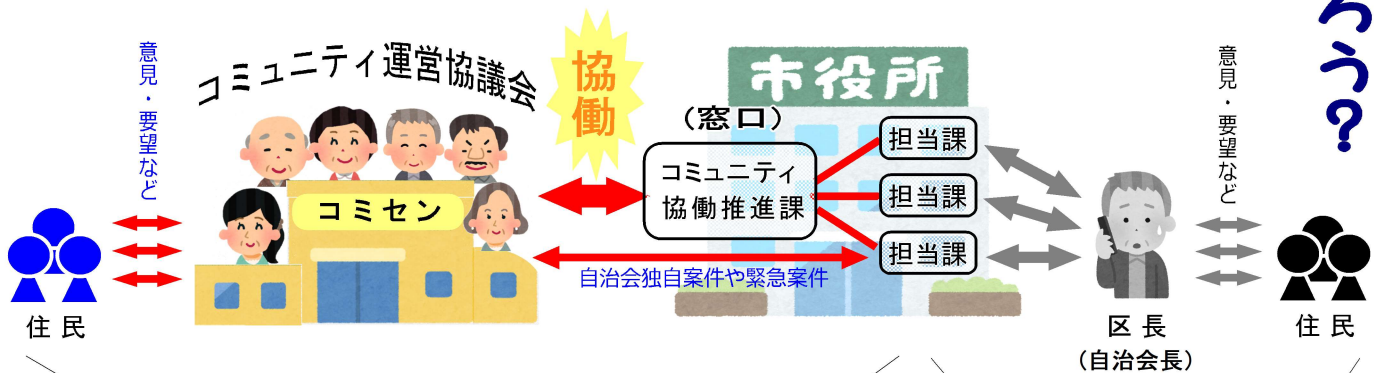
行事やボランティアがいっぱい！

どんどん参加して赤間西の輪をつなげていこう。



AFTER

BEFORE



コミュニティ制になって
住民と市の関係が近くなりました

以前は住民の声を市に届ける
のはたいへんでしたが…

20周年!!
赤間西コミュニティの
おもな出来事

2004年
(平成16年)

11月

第1回
コミセン文化祭
開催

9月

第1回「ぬくもり」開催
宗像市の乳児子育て支援事業として
はじまった「ぬくもり」
現在は「ぬくもりっこ」と改名され
毎月1回
子育て中のお母さんたちの
集いの場として
定着しています

7月

赤間西地区
コミュニティ
運営協議会
設立

2002年
(平成14年)

3月

コミセン開館

2003年
(平成15年)

2月

広報紙「ほのほの」
コミセンだより「ひまわり」
創刊号発行

平成24年度より
コミセンだよりは
「きらめき」に



コールチャティの楽しい合唱で盛り上がるXmas会



学ぶことは育むこと

赤間西コミセンには気軽に学べる「生涯学習の場」という大きな役割もあります。

日本人は、江戸時代から寺子屋やお稽古事を熱心に習得する民族でした。そんな成長の場として、赤間西コミセンには設立当時から様々な教室や学習スペースが開かれ、地域の学び舎としての役割を果たしてきました。

教室の先生方からメッセージをいただきました

祝 赤間西コミセン 20周年

私達の気功・太極拳教室の仲間も時を共存して楽しんでる大切なゆりの場となっております。20年間いつも感じていたことは、西会館の職員の皆さんがとても配慮が行き届いていることです。この20年間いつも感謝の気持ちでした。これからも宗像市民の楽しいサークル活動などを支えていただきたいと思います。

気功・太極拳

講師 篠崎 しのぶ

赤間西とともに・・・

心と身体と息を一つにして、みどりの木々を前に風や光を感じ鳥や蝉や虫の音をBGMに、広いホールで毎週ゆったりと心地よくヨーガを楽しんでいます。毎年参加するドキドキワークのコミセン祭りは、とても励みになり、会員一同熱心に取組んで参加しています。これからも、健やかな日々を目標にコミセンヨーガを楽しみたいと思います。二十周年おめでとうござります。

福岡ヨーガ道友会

講師 神上園 洋子

地域文化をコミセンから

当教室の卒業生は、美術の先生・デザイナー・画家・写真家・建築家・舞台美術など各分野で活躍しています。コミセンという地域の活動する場がなければ子ども達も自分の夢を叶えられなかったかもしれません。地域文化の意識の高さは、街の豊かさ・幸福度にもつながります。去年・今年とコロナの為、当たり前だと思っていた文化行事も出来なくなりました。人との繋がりが弱まり個々で生きていく事が大変であると知りました。これからのコミセン発展と活躍を切に願います。

創造と夢を育てる絵画造形教室

代表 鳥井 正夫

利用者の声

コミセンで何が出来るの？

コミュニティ活動の拠点となるのがコミュニティ・センター（コミセン）です。地域のイベント会場となったり、生涯学習や行政サービスの拠点でもあります。

市役所に行かなくても
コミセンで印鑑証明や
住民票を取れるのが
便利です。



家とは違う環境で
勉強できるから
コミセンの学習コーナーを
利用しています。



子育て中ですが
ベビーカーで入って
気軽に本も借りられるから
良い気分転換になります。



近くで体を動かす
教室が開催されて
うれしい！



カムカム祭り・総踊り



世代間交流
夏物語
そうめん流し

2010年
(平成22年)
10月

赤間駅前カムカム祭り開催
赤間駅北口
区画整理事業の竣工



2008年
(平成20年)
7月

4部会合同事業開始
世代間交流として
現在も季節ごとに開催
幅広い世代がともに楽しめる
人気のイベントです

2006年
(平成18年)
3月

赤間西のシンボルマーク決定！
地域住民の躍動感
自然に恵まれた野山に太陽が昇る様子を
表したシンボルマーク
公募により大久保泰雄さん（大谷）
が考案したデザインを採用

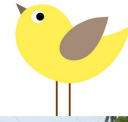


10周年から20周年へ

コミュニティの繋がりが広がって

赤間西発の企画もぐりぐり

増えたよ。



4月 住民票・印鑑登録証明書の即時交付サービス開始

5月 赤間西小運動会にコミュニティとして初参加

6月 赤西ふれんど隊誕生

できる人が
できる時に
できる事を!



コミセンジャー参上!

間西広報キャラクター誕生

1回 ふれんど杯ドッジビー大会開催

ミセン祭り みんなで踊ろう

コンプレックス初開催

部会を中心に「門松つくり隊」発足

パーク始動

初開催

コミセン祭り



八幡神社)

休館



毎年コミセンの玄関を飾ります



「恋するフォーチュンクッキー」で盛り上がる♪

九州北部豪雨では
赤間西地区でも
道路の
浸水被害発生
各自各家庭での
防災意識強化を
呼びかけました



コミセンから城山中まで
実際の通学路を走ります



ANPグッズで地域のながら防犯



プレーパーク (土穴)



あかびい

ぼくたち赤間西の
広報キャラクター



にしまる

許斐眞弓さん(三郎丸)が生みの親です



助けっす



平和展



赤西ふれんど隊



2012年
(平成24年)



2013年
(平成25年) 5

初の防災キャンプは
赤間西小に
1泊して
避難所生活を体験



平成28年からは
コミセンでの防災教室に…



2014年
(平成26年) 4月 赤
9月 第
11月 コ

2015年 8月 防災キャ
(平成27年) 12月 環境整備

2016年 5月 赤間西プレー
(平成28年)

2017年 3月 新中学生自転車教室
(平成29年) 11月 宗像世界遺産登録記念



2018年 7月 九州北部豪雨
(平成30年)

4月 プレーパーク移転 (大谷→土穴生目)

2019年 9月 ANP (赤間西パトロール) 始動
(令和元年) 11月 「赤間西の歌」コミセン祭りで披露



みちぬしのむち
福津市民吹奏楽団による「道主貴」演奏

5月 新型コロナ感染拡大 自粛期間中コミセン

2020年 8月 平和展初開催
(令和2年) 10月 こども110番かけこみ訓練開催



作詞者の井上正明さん(泉ヶ丘2)

2021年 5月 あかにしポイント事業開始
(令和3年) 8月 「誰かの役に立つかも」プロジェクト始動

あかにしポイント事業

- ①市の特定健診やコミセンのイベントに参加してポイントを貯めよう
- ②2021年度は、2022年3月31日(木)締切りです
1ポイントでも参加賞がもらえるよ
- ③2022年4月2日(土)抽選会開催
50名に豪華賞品が当たる!

特定健診と献血は
3ポイント!



詳しくは
コミセンの
ホームページを
ご覧ください

「誰かの役に立つかも」プロジェクト

家庭に余剰品はありませんか? 捨てないで!
「誰かの役に立つ」かもしれないから

みんなで
支え合いの
輪を
広げよう





よんばしら 赤間西の4柱です



赤間西地区コミュニティ運営協議会は
4つの部会で構成されています。

公民館活動部会

地域住民の親睦・交流を促進する

健康福祉部会

健康・福祉向上に取り組み

青少年育成部会

子ども達の健全育成、体験活動に取り組む

環境整備部会

環境保全・美化と、防犯活動を推進する



山下 正見 会長

先ず初めに、防災士として
も活動中の山下会長、赤間西
の防災について意見をお聞か
せください。

活動は対面交流

公民館活動部会

以前に比べ現在は、生活様式や年齢構成が大きく変わっています。多様化する価値観の中でネット動画等による交流方法もありますがやはり人と人の「対面活動」が基本と思います。地域の皆様の親睦向上に努めてまいります。良き行事アイデアを、お寄せいただきましたら幸いです。よろしく願いいたします。平穩な日常が早く来ることを望みます。



公民館活動部会長
大川内 清

心も体も健康に

健康福祉部会



健康福祉部会長
倉富 晋

上半期はコロナ感染拡大防止のため、殆どの事業が活動中止となりましたが、そんな中でも4月の歩こう会には45名の参加者を記録しました。下半期は緊急事態宣言解除に伴い、本来の健康づくり・福祉活動にギアをあげていきます。

新規事業である「あかにしポイント事業」と「誰かの役に立つかも事業」は順調に活動が進んでいます。

子どもたちの笑顔

青少年育成部会

例にもれず感染拡大の影響で思い通りの活動ができていません。今年度は、6月に「子ども110番駆け込み訓練」8月に「平和展」、月例の土曜日の子どもの居場所づくり「プレーパーク」(緊急事態宣言時除く)を行ってきました。1月には遊びイベントの「冬物語」を開催を計画しました。出来る可能性を模索しながら取り組んでいきたいと思えます。



青少年育成部会長
諫山 俊哉

笑顔の街づくり

環境整備部会



環境整備部会長
山口 新吾

皆様、コロナ禍における我慢の生活、お疲れ様です。環境整備部会は赤間西地区の商工会、消防団、交通安全協会、JR赤間駅等の各種団体と地域の皆様のご協力の下、環境整備運動と防犯活動を中心に推進しております。

子どもたちの素敵な笑顔に出会うため、様々な活動を企画し実施していきます。『笑顔溢れる安心・安全なまちづくり』に皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

つかも」プロジェクトとは？

内田 コロナ禍で貧困問題がクローズアップされていますが、協議会でも何か出来るんじゃないかと話し合い、はじめた事業です。しかし貧困の解消といってもプライバシーの問題もあるので、まずは全住民が参加しやすいよう、家庭で使わない文具等や日用品を募って全ての子どもたちに

「誰かの役に立つつかも」プロジェクトには、今までコミセンを利用したことのない方々も多く参加してくださいました。今後も新しい視点での事業に期待しています。

次に、コミセンの今後の事業展開について大野局長お願ひします。

大野 事務局長に就いて4

花田 以前、赤間西担当だった頃から「赤間西はまとまっているなあ」という印象でした。役員だった方々がその後コミユニティに尽力されているのが素晴らしい。その力でこの20年、コミユニティの組織づくりやコミセンの整備、イベントの実施等成功させて来られたと思います。

これからは次のステップへ。地域社会に積極的に関わって

ち、協働に励んで参ります。

では最後に山下会長、コミユニティの大事なテーマでもある次世代を担う子どもたち育成のために、私たちはどうあるべきか、お考えを聞かせてください。

山下 将来の社会を担う子どもたちを育てることは地域の責任でもあります。

コミュニティをリードする4人が語る これからの赤間西

ともにきらめく未来をつくろう

コミュニティの現状、課題そして今後について、山下協議会会長、内田同副会長、大野事務局長、宗像市コミュニティ協働推進課花田課長にお集まりいただき、それぞれの思いを語っていただきました。

山下 幸いにも宗像は今まで大きな災害に遭っていません。その分個人の防災への意識は低いと感じます。ですから昨今甚大な被害を出して

内田副会長、SDGsを意図した新事業「誰かの役に立

わった時も訓練の効果を聞かされました。近隣で声を掛け合うという意識は高齢者の見守り支援にもつながります。できるだけ多くの方に訓練に参加頂いて、災害は他人事ではないという意識を持って頂きたい。コミュニティとして各自自治会への働きかけや情報の発信に力を入れていきたいと思っています。



(司会進行)
協議会副会長 兼 広報委員長
高瀬 清美



内田 弥生 副会長

行き渡らせることからはじめました。協議会の一部の人の活動の場であってはいけません。これからも様々な立場を考え、すべての住民が参加しやすい事業になるよう活動を継続していきたいです。

年半、会社勤めからの転身で初めて地域住民の視点や市役所について知ることになり戸惑いもありましたが、新しい試みとして、ながら防犯「赤間西パトロール（ANP）」を立ち上げたり、これも110番の家かけこみ訓練を実施するなど、参加しやすい利用しやすい見守り・防犯を考えました。また、赤間西コミセンのホームページの開設や、WiFi環境も整うなど、市の協力を得て当コミセンもようやくデジタル化が進んでいます。



大野 博 事務局長

新型コロナウイルス感染拡大では休館が続く、事業も思うように実施できませんでしたが「一旦立ち止まって考える時間をいただいた」とも思っています。様々な生活問題が浮き彫りになり新たな地域共生社会が動き始めるなか、コミセンとしても視野を広げて「まだやれることはないか？」と考え実行して行きたいと思っています。

続いて、花田課長には今後の宗像市と赤間西の協働について伺いたいと思います。



花田 達也 課長

いくことが大きな目標になってきます。その点でも赤間西はこれまで子どもたちに重点をおき、新中学生自転車教室の開催で事故率削減に成功するなど実績があります。今後も更に対象を広げ「自分たちの目線で見えた地域課題」の解決に、赤間西らしい個性的なアイデアで取り組んでいってください。期待しています。宗像市としても、当市独自のコミュニティ制を当たり前に思わず、皆さんに支えられているという意識を改めて持

コミセンのボランティアプラザで調べ物をしていた福岡高校三年生の江口大洋君に聞きました。

小学生の頃は三郎丸公民館や裏山の自然で遊んでいた。森、自然、岩石、鉱物が好きでたまたまコミセンで手に取った本（筑前風土記・三郎丸に昔鉱山があったという記述）を読んでいたそう。コミセンは集中して勉強できるので週2回くらいは利用している。赤間西の子ども達へ「赤間西に

未来の博士発見！



は自然がある、創意工夫して山や川で沢山遊んで色々な経験をしたい」と、江口君。いつか鉱物探検ツアーの先生としてコミセン講座にお招きできたらいいな。夢に向かってファイブ！応援しています。

多様性が尊重されるこの時代、暮らし方が違ってもお互い理解し助け合える人になってほしい。そのためには家庭や学校だけでは教えられないことが沢山あります。子どもたちは地域の大人たちとあいさつを交わしたり地域の行事に参加したり、多くの人たちと接する機会を持つてほしい。大人はそんな子どもたちを見守り、話をしてください。そして心豊かに育った子どもたちが、きつと次の世代へ地域の良さを引き継いでいってくださると思います。コミュニティが人と人とのつながりを育てる場となるよう、私たちはこれからも子どもたちに積極的に関わっていきたくと思っています。



20周年の感慨と未来への希望を胸に…

開設以来、当協議会の運営・活動に多大なるご尽力とご協力を頂いた皆様に、心からの感謝とお祝いを申し上げます。

当初掲げた「ほのぼの赤間西まちづくり計画」をベースに、地区の皆様との協働と支え合いの成果も見えて参りました。社会の情勢が急激に変化している現在、環境問題等も含め更に将来を見据えた協議会の活動が求められています。これからの新しい「安心安全・住みよい・夢のあるまちづくり」を、共に推進していきましょう。

赤間西地区コミュニティ運営協議会 会長 山下 正見

20周年記念誌「あかまにしコミュニティの20年」編集委員

高瀬清美 花田義男 錦戸道世 白武至美 松田典子 中島佐千子 松元桂子 永尾圭史郎 中井めぐみ